

地域運営学校 10年目始動!

世田谷区立給田小学校 学校運営委員会通信

平成28年度 第1号
平成28年10月3日
世田谷区立給田小学校
学校運営委員会
委員長 稲井 達也

4月1日、校長室にて第1回
学校運営委員会が開かれました。

今回は、年度始めということで、職員会議に出席し、全教職員に挨拶をした後、委員会を開始しました。

はじめに出席者の自己紹介を行ってから、稲井委員長より「平成26年3月から行方不明になっていた朝霞市の中学生が無事発見されホッとしました。給田小は、程原さんが毎朝校門に立ってくださっていることが、防犯に役立っていると感じています。今後も気を引き締めてリスク管理をしていきたいと思えます」とのお話がありました。

つぎに、猪刈校長が「今年で地域運営学校10年目となります。すべてがうまく回っているように感じます。着任したばかりなので、今後、どのような学校にしていくか考えていきたい」と語られました。

続いて、夏休みまでの委員会開催日時の調整を行いました。

経営方針については猪刈校長より「1カ月、学校の様子を見させていたただいてから提案させていただきたい」との申し出があり、次回運営委員会にて提案し、承認を行うことになりました。

最後に、今年度の活動計画について

第1回議題

1. 委員、事務局の自己紹介、担当分担
2. 委員長から
3. 校長から
4. 委員会開催日調整
5. 学校経営方針について
6. 活動計画

出席者
稲井、程原、高橋、若林、林、藤井、猪刈、大湊

第2回議題

1. 委員長から
2. 教育活動報告および学校経営方針について
 - ・校長から
 - ・副校長、主幹から
3. 委員会活動報告 および予定
4. PTAから
5. その他

出席者
稲井、程原、高橋、若林、林、藤井、猪刈、大湊、安部

第3回議題

1. 教育活動報告および予定
 - ・校長から
 - ・副校長から
2. 委員会活動報告 および予定
3. PTAから
4. その他

出席者
程原、高橋、林、藤井、猪刈、大湊、安部

「昨年度と同様、給食補助ボランティア、サマースクール、漢字検定、学校運営委員会通信(以下、通信)の発行を考えていますが、今年度は給食補助ボランティアは11日間、通信については年3回の発行を考えています」と若林委員より報告がありました。

5月10日、校長室にて第2回
学校運営委員会が開かれました。

はじめに稲井委員長から「先日、給食補助ボランティアに参加しました。給田小の先生がたにはお互いに学び合う姿が見られますが、給食指導の様子からもその重要性が感じられました。また、これまで学校教育で普通に行われてきたこと(組体操や二分の一人式など)に対する批判や意見が出てきています。いろいろなことを慎重に行っていくかといけません。運営委員会でも支えていきたいと思っています」とお話がありました。

つぎに猪刈校長より「赴任して1カ月、地域や保護者のみなさまの支えてくださるといふ雰囲気にも助けられています。」といふ言葉に続き、学校経営方針について「教育目標は昨年度と同じ『深く考える給田の子、心豊かな給田の子、体の丈夫な給田の子』。基本方針として、

児童、保護者・地域や教員が『誇りに思える学校づくり』、『教員の授業力・指導力を高め、児童のより良い成長を導く』、『教職員が相互に学び合い、チームで学力をあげる』と考えました。以上の方針を進めていき、子どもたちの笑顔のない学校にしたいと思っています」と説明があり、委員会で承認されました。

続いて大湊副校長から「スマイルーム(特別支援教室)がはじまり、特別支援関係の先生がたの動きがようやく把握できてきました。現在、順調に運んでいます」と、教務主幹の安部先生からは「16日から教育委員が4週間始まりです。6月に入ると体力テスト週間で保護者の方に協力いただきます。11日には引渡し訓練が行われます」と報告がありました。

つぎに若林委員から委員会活動について「今年度は11日間給食補助ボランティアを行いました。漢字検定第一回は7月8日に行います。サマースクールは実行ボランティアを募集しましたが名しかお申し出がありませんでした」とお話があり、サマースクール実行ボランティア最低必要人数に満たないことから、残念ですが、今年度のサマースクール中止が決定しました。

林委員から明日5月11日、PTA総会が行われるとの話の後、高橋委員より「5月14日土曜日、2年生『夏やさいを育てよう』の授業でゲストティーチャーを行います」と報告がありました。

学校公開期間ということで、授業を見学してから委員会を始めました。

9月10日、校長室にて第3回
学校運営委員会が開かれました。

はじめに、大湊副校長から、本日6年生の水泳記録会が行われたと報告があり、今後の予定について確認をしました。また、今年度の水泳指導について「指導中のマイクの音がうるさいと近隣から苦情の電話が入り、マイクなしで指導を行いました。マイクを使わなくなると真剣に話を聞く姿が見られました」とお話がありました。

続いて委員から学校公開の感想として「オープンスペースにいる保護者が多く、もったいないと思った」「自転車が多く、児童の登下校時、危険なのではないかと思った」などがありました。これについては今後の検討課題とすることになりました。

つぎに猪刈校長が「今週行ったあいさつ週間も、地域の方たちがかわってくださり、どんどん大きな声で元気にあいさつできるようになりました。子どもたち何十回でも繰り返し伝えて、みんなと一緒にやっていく必要があると思います。これからも頑張っていきます」と感想を述べられました。

委員会活動については大湊副校長より、「漢字検定の表彰を26日に行います。水泳関連のボランティアでは多くのみなさまに協力いただきありがとうございます」と報告がありました。

最後に林委員より「2学期になり、来年度の役員選出に向けて少しずつ動きが出てきます。給田小PTA研修会は、10月24日、講師をお招きし、防災についてお話していただきます。25日には避難所運営訓練の勉強会があり、29日に避難所運営訓練があります」とPTA活動についてお話があり、散会となりました。

「地域運営学校」としての3つのビジョン

- * 給田小の子どもたちは、
 - 家族や担任教員以外の大人とふれあう機会が増える。
 - 住んでいる地域や通っている学校について、自分の言葉で表現できるようになる。
- * 給田小の教職員は、
 - 授業や教育活動をいろいろな人に見てもらう機会がふえる。
 - クラスや教科を越えて、学校の現状や将来について考えることができるようになる。
- * 給田小の保護者・地域住民は、
 - 学校のために、自分ができることをする機会が増える。
 - 「私の子どもの学校」から「私たちの子どもの学校」として考えることができるようになる。

〈3つのビジョン〉を基に、さまざまな教育活動に保護者・地域のみなさまにボランティアとしてご協力いただいております。子どもたちとたくさんかかわりを持っていただき、みんなの子どもをみんなで育てていきたいと思っております。

給田小学校

校長 猪刈 恵美子

給田小学校に赴任した初日のことです。最初に、校長室のドアを開けた瞬間、出迎えてくださったのは、学校運営委員のみなさんでした。さわやかな笑顔と拍手の中で、「給田小学校でよかった。」と、ほっと胸をなで下ろしたのを感じています。

地域運営学校として10年目を迎える。これまでの積み重ねと、給田小学校を支えてきた実績が、学校運営委員会を開くごとに伝わってきました。委員長の稲井先生をはじめとして、学校運営委員会と事務局のメンバーの皆さんは、給田小学校の頼りにな

給食補助ボランティア

生丸滑な給食指導につながりました。漢字検定があることで、子どもたちの意欲につながっています。暑い中でプール見守りボランティア等では、子どもたちの安全・安心につながりました。地域運営学校としての活動が給田小学校と保護者・地域の皆様とつながることに至っていることを心から感じました。感謝申し上げます。地域運営学校として3つのビジョンを大切にして取り組んでまいりますので、どうぞ今後共、ご協力・ご支援をお願いします。

平成28年度学校運営委員・事務局メンバー

委員長
稲井 達也
(学識経験者)
日本女子体育
大学教授



委員
程原 剛
(地域)
元YAMATO
代表




委員
土屋 俊幸
(地域)
元PTA会長、
上祖師谷中学校
PTA会長



事務局
副校長
大湊 勝弘



委員
田中 邦治
(地域)
元給田青穂会
会長



委員
高橋 哲也
(卒業生)
給田町会




委員
若林 みどり
(地域)
学校支援
コーディネーター




教務主幹
安部 克則



委員
林 智美
(保護者)
PTA会長



委員
藤井 恵弥
(就学予定児の
保護者)
給田幼稚園
ふたば会会長



委員
猪刈 恵美子
(学校長)
給田小学校校長



生活指導主幹
上妻 律子



給食補助ボランティア

みんなのお父さん、お母さん

入学後1週間で始まる1年生の給食。このボランティアは、先生や子どもたちのお手伝いをするのが目的ですが、参加することで子どもたちを身近に感じ、「みんなのお父さん・お母さん」になつて欲しい、そんな思いを込めて毎年行っています。そのため、参加されるみなさんには「子どもたちにとくさん声をかけてください」とお願いしています。

今年は、4月14日から28日までの11日間、1年生保護者(85家庭)、学校運営委員(OB含む)や学校支援コーディネーター等、延べ145名の方がお手伝いしてくださいました。



「熱いから気を付けてね」重たいトレイを持つ子ども一人ひとりにやさしく声をかけてくれました。



稲井委員長も子どもたちと楽しい給食の時間を過ごしました。

しゃいしましたが、戸惑いながらも子どもたちにたくさん声をかけてくださっていました。

子どもたちの配膳の様子を見た保護者の方は、「ご飯をよそったり、熱いスープを注いだり、家ではやらせていなかったので、少しづつできるように家庭で練習させるようにしたいと思います」と話していらつしゃいました。

短い時間でしたが、学校での子どもの様子や先生がたのご苦労がわかり、「楽しいけど先生おひとりでは大変ですね」とおっしゃる方がたくさんいらつしゃいました。

今後、学校に足を運んでいただき、子どもたちの成長をみんなで見守っていきましょう。

平成27年度 第8回学校運営委員会報告

3月3日、校長室にて第8回学校運営委員会が開かれました。

はじめに、稲井委員長より「先日、アメリカ出張の際、いくつか学校を見学して来ました。日本の教育が優れていることを改めて感じると同時に、コンピュータ教育を整備していかなければいけないと思いました。給田小の良さも、改めて見直して頂きました」とお話がありました。

つぎに杉山校長から「新5年生が5クラスになる見込みで、来年は28学級となります。小学校では今、まとめの時期にあります。わかたけではお別れ会、鼓笛も5年生が6年生から引き継いでいるところです」と報告がありました。

教務主幹の安部先生からは来年度の行事の日程についての報告に続き、6年生について「地域ボランティアで地域の方に大変お世話になりました。子どもたちには最後に、感謝の気持ちを感じて卒業してくれたらと願っています」と語られました。

生活指導主幹の上妻先生からは、「地域の方から給田幼稚園先の変形交差点の角にあるポールが何度も壊れ、取り替えてもらっているとの連絡をいただきました。ポールが柔らかいので、子どもたちが跨いだり蹴ったりしている様子が見られ、注意しました。今後も気を付けていきたいと思ひます」とお話がありました。

続いて若林委員より、「3月1日付で学校運営委員会通信第6号を発行しました。今年度はこれが最後になります。今後の発行については、来年度、みなさんと相談して決めていきたいと思ひます。1月30日に行った漢字検定は、8名欠席のため、165名が受験しました。来年度については、PTAの係を配置していただけることになり、2回の開催が確定しました」と報告がありました。

つぎに杉山校長より関係者評価のまとめを踏まえ、来年度の重点目標についてお話がありました。

最後に、林委員が「来年度、わくわくフェスティバルが開催されなくなつたことを受け、PTAで話し合った結果、年2回の漢字検定を確実に開催したいということになり、集計・当日ボランティアすべてを係でまかなえるようにしました。また、2月23日の運営委員会にて新役員候補者すべての役職で承認を得ました。これから引継ぎをしながらみんなで協力して活動していきたいと思ひます」と話され、今年度最後の学校運営委員会が終会となりました。

議題

1. 委員長から
 2. 教育活動報告
 - ・校長から
 - ・副校長、主幹から
 3. 委員会活動報告および予定
 4. 学校関係者評価委員会 報告書について
 5. PTAから
 6. その他
- 出席者
稲井、程原、高橋、若林、林、杉山、大湊、安部、上妻



中学生が来てくれたのが嬉しくて、教えてもらうついでにちょっとおしゃべり。

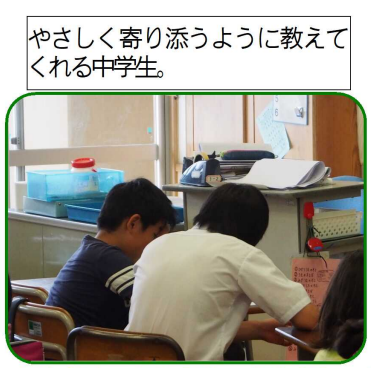
毎年、「サマースクール」のお手伝いに来てくれた上祖師谷中の生徒たち。今年からは烏山中のボランティア部もお手伝いに来てくれることになりましたが、肝心の「サマースクール」が中止になってしまいました。

そこで、烏山中学校、上祖師谷中学校と相談し、今年は1～5年生の算数教室のお手伝いと、図書室開放のお手伝いをお願いすることにしました。

算数教室のお手伝いは給田小学校としては初めての試みでしたが、お兄さん、お姉さんが丸つけをしてくれたり、解らないところを親身になって教えてくれ、先生も子どもたちも、とても助かりました。

図書室開放は、例年10日間行っていました。今年も中学生ボランティアのおかげで13日間行うことができました。

烏山中、上祖師谷中の お兄さん、お姉さん、ありがとう♡



図書室開放中、延べ527人の子どもたちが図書室を利用しましたが、うち150人が3日間の中学生ボランティア期間中に訪れていました。中学生が受付に座っていると、お姉さんと話していると、お姉さんと話していると、貸し借りの際に一言聞いてみたり…。ただ受付に座ってくれているだけでも、子どもたちはとても嬉しうでした。

中学生のみなさん、ありがとうございました。



小学生がわかるように、言葉を選んで教えてくれました。

太鼓で大活躍！

給田納涼盆踊り大会

8月9・10日、千手観音堂境内にて「給田納涼盆踊り大会」(以下、盆踊り)が開催されました。

東京音頭にあんぱんまん音頭、曲に合わせて太鼓の音が聞こえてきます。櫓の上で地域の大人の方たちに混じって太鼓を叩いているのは、給田小卒業生の佐藤千夏さんと給田小6年の佐藤真季さん姉妹。お2人は小学校1年の頃から給田小子どもばやしで練習を重ね、いろいろな場所でお囃子を披露してきました。そのご縁で今回、盆踊りで太鼓を叩くことになったそうです。

難しい曲が多く、叩けるのはまだ数曲ですが、盆踊りが始まる19時から21時まで、提灯に照らされた櫓の上で、軽快に太鼓を叩いていました。

「太鼓のフチを叩く奏法は、子ども



ばやしにはないので上手くできるか不安でしたが、やってみると意外に楽しくて、ホッとしました」と笑顔で話す千夏さん。来年は難しい曲も叩けるようになって、もっともっと活躍の幅を広げたいことでした。

みなさんも櫓の上に視線を向けてみてください。暑さにめげず頑張っているお2人の姿をみる事ができるかもしれません。

8月31日、教職員と学校運営委員とのフリートーキングの会がおこなわれました。

この会は、教員と学校運営委員をつなぎ、地域運営学校の理解を深めるために始まり、今年で7年目となります。

委員の自己紹介の後、「保健体育」「生活指導」「特別活動」「研究推進」の4つの分科会に分かれ、それぞれテーマに沿ったフリートーキングを行いました。

教職員と学校運営委員の フリートーキングの会

もたちからのあいさつはできていないと思いますが、大人からの声掛けが難しいと思います。私もですが、地域の大人としてどのように接すればいいのか戸惑っている方もいると思います。先生がたのお話の中でいろいろ教えていただいたので、今後はみんなに声をかけていきたいと思えます」と、「特別活動」に参加した藤井委員は「先生がたが地域に恵まれていると感じてくれていることがとても嬉しかったです」と感想を述べました。

短い時間でしたが、お互いの活動について知る良い機会となりました。

最後に、「生活指導」に参加した高橋委員は「子ども」

「学校運営委員会通信に掲載されている写真は、ご本人の承諾を得て掲載しています。個人が特定できる」等を含む個人